

特集 産学官民連携

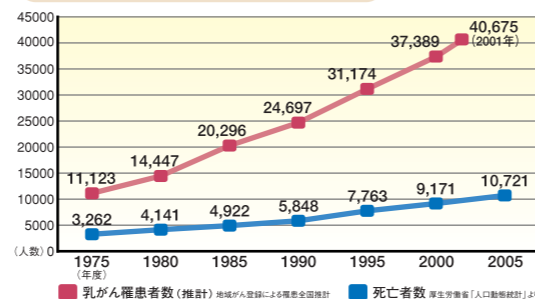
安心を手に入れませんか？

乳がんリスクファクター

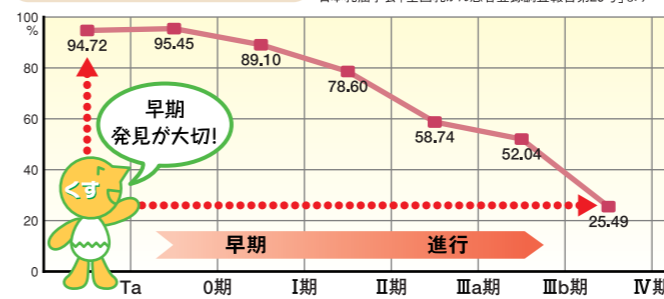
- 1 年齢40歳以上
- 2 30歳以上で未婚
- 3 初産が30歳以上(結婚経験がない人を含む)
- 4 閉経年齢が55歳以降
- 5 肥満(特に50歳以上、標準体重の20%以上)
- 6 良性の乳腺疾患(特に増殖性、異型を伴うもの)になったことがある
- 7 家族(特に母、姉妹)に乳がんになった人がいる
- 8 乳がんになったことがある



乳がん罹患患者数・死亡者数



乳がんの10年生存率



三重乳がん検診ネットワークを知ろう

特定非営利活動法人である三重乳がん検診ネットワーク(<http://mie-mmgnnet.jp/>)は、今から6年前に認可を受け、マンモグラフィ(乳房X線検査)検診を通じて、県内のマンモグラフィ検診を行う医療機関が集まって、検診の普及啓発、精度向上や検診に係る人材の育成などの活動を行っています。乳がん検診を受けられる方に同意を得た上で、各人固有のID番号の付いたカードをお渡しし、各受検者の検診内容登録を行っています。これらの登録情報は、当法人が管理する専用サーバに保存、一括管理しています。現在、登録者数は102,210人(平成22年11月30日)であり、県内40歳以上の女性人口の約2割に達しました。

乳がん検診を県全域で応援します

平成22年4月より2年間、三重県から乳がん検診事業全般に関する事業委託を受け、乳がん検診に関する啓発、実態把握、精度管理など、県内全域を対象として行っています。10月9日には県内17医療機関が一致協力して、約400人を対象に、無料マンモグラフィ体験イベントを行いました。国はがん検診受診率を50%以上にすることを掲げており、当法人では現在、三重県内において乳がん検診受診率50%が達成可能であるかどうか、県内マンモグラフィ検診実施全施設を対象として調査を行っています。今後も、様々な啓発イベントや調査、情報公開を行い、県全体で乳がん検診の充実を支援していきます。



三重乳がん検診ネットワーク 登録可能医療機関

乳がん検診ネットワーク事務局 (三重大学医学部 附属病院)

検査ネットワーク実行委員

三重乳がん検診ネットワーク登録システム 加入医療機関(25機関)

(平成22年11月現在)

地区	病院名	電話	地区	病院名	電話	
桑名	山本総合病院	0594-22-1211	津	永井病院	059-228-5181	
	桑名市市民病院	0594-22-7111	伊賀	伊賀市健診センター	0595-24-1186	
	ヨナハ総合病院	0594-23-2415	名張	寺田病院	0595-63-9001	
四日市	四日市社会保険病院	059-331-2000	松	松阪中央総合病院	0598-21-5252	
	四日市健診クリニック	059-330-7722		清生会松阪総合病院	0598-51-2626	
鈴鹿	鈴鹿中央総合病院	059-382-1311	阪	松阪市民病院	0598-23-1515	
	鈴鹿回生病院	059-375-1212		桜木記念病院	0598-21-5522	
津	塩川病院	059-378-1417	伊勢	市立伊勢総合病院	0596-23-5111	
	三重大学医学部 附属病院	059-232-1111		町立玉城病院	0596-58-3039	
	岩崎病院	059-232-2216		山田赤十字病院	0596-28-2171	
津	三重県健康管理事業センター(サンテ)	059-228-4502	志摩	三重県立志摩病院	0599-43-0501	
	津健康クリニック	059-226-0456		南勢	尾鷲総合病院	0597-22-3111
	遠山病院	059-227-6171			三重乳がん検診ネットワーク事務局	059-231-5029



三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻・助教 小林 茂樹 Kobayashi, Shigeki [URL] <http://mie-mmgnnet.jp>

附属病院にて

乳がんが増えています

1960年代以降、男女とものがんで亡くなる人が増加しはじめ、最近では全体の3割の人が、がんで亡くなっています。男性においては、肺がん、肝臓がん、大腸がんで亡くなる人が増加しています。一方、女性においては、肺がん、大腸がん、乳がんで亡くなる人が増えてい

ます。乳がんで亡くなる女性の割合は、肺がん、胃がん、結腸がん、膵がんに次いで第5位ですが、乳がんにかかる割合(罹患率といいます)は第1位と高率です。乳がんが増えているのは、生活習慣の欧米化が原因のひとつと考えられています。